人口減少と多文化共生の
地理学
―泉都・別府から考える―

外国人に対して抱く感情は人それぞれです。
他方で、人口減少と高齢化が進む今の日本では、外国人と共存し、
その力を借りることなしに、社会や経済を維持することはできません。
この現実をしっかりと認識して、きれいごとではない多文化共生を実現していかなければなりません。

温泉地として名高い大分県別府市では、
2000年に留学生が半数を占める大学が開学したことをきっかけとして、
ゆっくりと、しかし着実に、多文化共生都市への途を歩んできました。
もちろん、いまだに問題は山積しています。

この講座では、講師がかつて暮らした別府を社会的実験室に見立てて、
ローカルからナショナル、グローバルに至る視点を交えながら、
日本における多文化共生の方向性について考えてみたいと思います。



《講師》
中澤 高志
明治大学経営学部・文学研究科教授

《オンライン（Zoom）》
11.27 金
11:00～12:30
受講料：3,300円（税込）

申込締切：
11/17（火）



明治大学リバティアカデミー事務局
〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学駿河台キャンパスアカデミーコモン11階
【平日 10：30―19：00／土曜 10：30―15：30(日・祝休業)】
03-3296-4423
academy@mics.meiji.ac.jp